

医療法人社団哺育会白岡中央総合病院と 協定を締結しました



(左から) 橋本院長、中村会長、藤井市長、江原議長 (立会人)



記者会見の様子

◆ 白岡市長

ふじい えいいちろう
藤井 栄一郎 コメント

移転候補地は本市のほぼ中央に位置していることから、災害時などにおいて拠点となる、公的医療機関のような役割を果たしていただけることを期待しております。

◆ 上尾中央医科グループ

なかむら やすひこ
中村 康彦 会長 コメント

新しい時代の医療に対応できる機能を有する新病院の開設により、安心安全な市民生活を守っていただけるよう尽力して参ります。

◆ 白岡中央総合病院

はしもとみのり
橋本 視法 院長 コメント

引き続き、地域の二次救急医療機関として社会貢献を果たすことや、白岡市の安定的な医療体制の構築を進めて参りたいと考えております。

問合せ 医療福祉拠点整備推進室
☎0480(92)1111 内線
222・223

8月4日、白岡市役所において、白岡中央総合病院の移転開設及び運営等に関して、白岡市と医療法人社団哺育会白岡中央総合病院及び上尾中央医科グループで協定を締結しました。

白岡中央総合病院は、昭和53年の開設以来、市内唯一の総合病院かつ二次救急医療機関として、地域医療に貢献いただいておりますが、建物の老朽化や、数度にわたる建物の増築に伴う土地の狭あい化が大きな課題となっております。

市と白岡中央総合病院は、7月1日に取り交わした市内移転に向けた覚書の内容の実現に向け、このたび、病院運営を担う上尾中央医科グループを含めて協定を締結したものです。

今後、関係権利者の皆さんのご理解、ご協力のもと、本協定に基づき、市民の皆さんが医療面などで安心して暮らせるよう、3者で連携して参ります。

協定書の主な内容

移転開設及び運営の目的	病院は、地域に医療を提供する中核的な役割を果たす総合病院として、市内及び埼玉利根保健医療圏の安定的な医療体制の構築を図るために開設する 【新病院の機能】 ・地域の二次救急医療 ・災害時における医療拠点 ・感染症対策の充実 など
開設候補地	第5次白岡市総合振興計画の土地利用基本構想において「複合的土地利用区域」として位置付けられている区域のうち、白岡中学校東側の区域 ※位置及び面積は、確定後に別途定める
開設予定時期	令和7年度(目標年度)
市の支援措置等	【開設支援】 1 開設用地の確保に対する支援 2 開設用地周辺のインフラ整備への支援 【運営支援】 1 固定資産税相当額の補助(10年間) 2 地域貢献に係る機器購入等に対する補助